

ジェイアールバス東北本部

第8号 2024年11月6日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3982
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申3号「2024年度年末手当に関する申し入れ」について趣旨説明を行う！

バス東北本部は、11月6日に申3号「2024年度年末手当に関する申し入れ」について趣旨説明を行いました。主な議論経過は以下の通りです。

組合

- ・ジェイアールバス東北会社の2024年度の経営状況は、運送収入は収支計画に対しては及ばないものの、対前年度よりも増加傾向となっている。
- ・要員問題は一向に改善せず、改善の兆しが見えたかと思えば人材流出に歯止めがかかっていない。管理者や現場長が点呼やバス乗務に従事し、本社の若手社員も総出で助勤対応しており、まさしく全社員が過去最高の働き度である。
- ・組合員・社員はジェイアールバス東北会社の黒字経営と健全経営に向けて、様々な形で貢献している。
- ・組合員・社員の生活実感は、24春闘での過去最高のベースアップと夏季手当での高水準の支給が実施されたものの、物価上昇に対しての賃金上昇率が追いついていない状況にあり、まだまだゆとりある生活水準は望めない。
- ・職場で奮闘している組合員・社員の利益と生活を守りモチベーションを維持向上させることで更なる人材流出を防がなければならない。
- ・「人への投資」をすることによって人材の確保と定着が実現し、安全・安定輸送及びサービス品質の向上が生まれ、健全な会社経営をつくり出すことが出来る。
- ・今は人材確保と定着が最優先。今こそ満額回答を！

会社

- ・2024年度の経営状況を収支で見ると、対前年でマイナス、対計画もマイナスであり好調な経営状況とは言えない。
- ・上期は苦しい状態であり、直近10月期も計画割れで、青森のインバウンドも減った。立て直しをしなければならない。
- ・他社との価格競争もあり、単価が上がっていない。
- ・列車代行分を除いた本業だけで見ると4月から良くない。
- ・会社を支えるのは社員の努力であり、夏季手当でも最大限の回答をしてきた。経費としては増えたが、そのことを間違いとは考えていない。
- ・今回も最大限と考えているが、上期の収支は対前年・対計画ともマイナスである。

人材確保と組合員・社員の苦労に報いるために満額回答を！